

神奈川県防災行政通信網

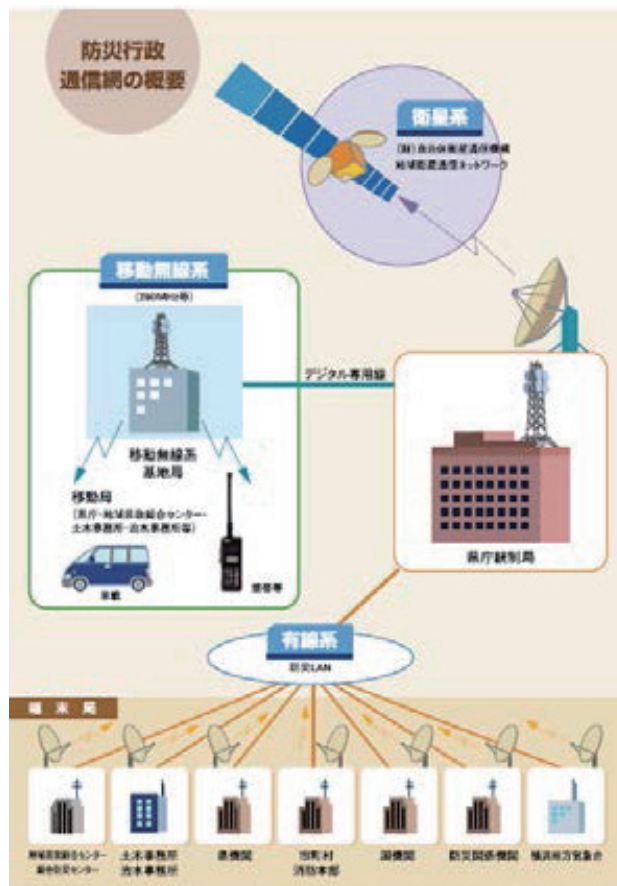
神奈川県では、デジタル有線回線による「防災行政通信網」の有効活用で、地震や大雨など、災害時の各種情報収集・提供の充実と、より万全な危機管理を図った。

背景

神奈川県では、県域防災行政無線の通信回線として多重無線回線や単一无線回線を利用していた。システム更新を機に将来におけるシステムの拡張性や運用面を考慮し、防災行政通信網（以下、通信網）としてデジタル有線回線（広域イーサネット網）を利用することにした。

概要

- 通信網は、デジタル有線回線により、VoIP を使用した通話、ファックスの送受信とともに、高速データ通信を実現。
- 神奈川県では、通信網の一斉指令機能により、横浜地方気象台から提供される気象情報を市町村、消防本部、防災関係機関（TV / ラジオ局、鉄道会社等）、災害拠点病院等にリアルタイムに情報伝達を行う。
- 地震発生時には、各市町村に設置した震度計から通信網を介して震度情報を迅速に収集し、県が行う応急活動に役立てるほか、横浜地方気象台や消防庁へ震度情報を提供することにより、各機関の活動を支援。
- 県が整備した他の情報システムにおいても、通信網を利用して砂防・水防情報、土砂災害情報、ダム情報等を県庁に伝達し、県庁にて情報の管理を行う。



出典：神奈川県防災行政通信網 パンフレット

アピールポイント

- 三菱電機(株)は衛星設備機器、多重無線設備機器を製造しており、これらと有線回線を組み合わせることにより、さらに強固な防災通信網の構築を提案できる。
- 県全域に通信網を整備したことにより、県内各機関に対し、各種防災情報提供の充実化が図られた。
- 県の各部局が整備したシステムが本通信網を利用できることにより、データ通信にかかる追加の費用が不要となり、費用削減が図られている。